

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	市立博物館	所在地	須坂市臥竜二丁目4番1号			
施設分類	市民文化系施設	所管課	文化スポーツ課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	688.84			
居住誘導区域	○	防災関連施設	○			
設置根拠	須坂市立博物館条例	設置の目的・経緯	市民文化の向上に資するため		交通アクセス	須坂駅から徒歩で15分
事業内容	須坂市の文化財を調査・収集し、各種文化財を収蔵・展示する施設	貸付の有無	無			
管理運営の状況	直営	委託内容				
備考（その他特記事項）						

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	2	地下	無	建築面積		延床面積	688.84
構造 （主たる建物）	CB造/S造				建築年度 （主たる建物）	1966	築年数 （主たる建物）	59
取得価格	245,554,700				耐震化の状況		建築基準法改正後	
帳簿原価	326,124,700				バリアフリー対応		スロープ	
減価償却累計額	120,257,479				省エネルギーの対応状況		照明のLED化	
老朽化率	37%				施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位 (千円)

費用		2022	2023	2024	5年間の平均値
	人件費	14,345	15,819	12,539	14,234
	委託料	3,829	3,491	3,895	3,738
	光熱水費	2,955	2,486	2,911	2,784
	維持補修費	756	84	96	312
	減価償却費	4,736	4,736	4,736	4,736
	指定管理料				
	その他				
費用合計		26,621	26,616	24,177	25,805

収入	利用料等収入	199	267	153	206
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		199	267	153	206

収支	-26,422	-26,349	-24,024	-25,598
利用者一人当たりコスト	5.34	4.03	4.70	4.62

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額	201,850	内容	2020年度 耐震・長寿命化
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	市内外来館者	
開館時間	平日	午前 9 時～午後 5 時
	休日	午前 9 時～午後 5 時
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12月29日から翌年1月3日	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3 年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	4,989	6,603	5,147	5,580	-8%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	市立博物館
---------	-------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）
合計		-2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率			
合計		0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%以上75%未満
耐震性能	C	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
これまでの改修履歴	C	1	必要な改修がある程度行われている
合計		6	

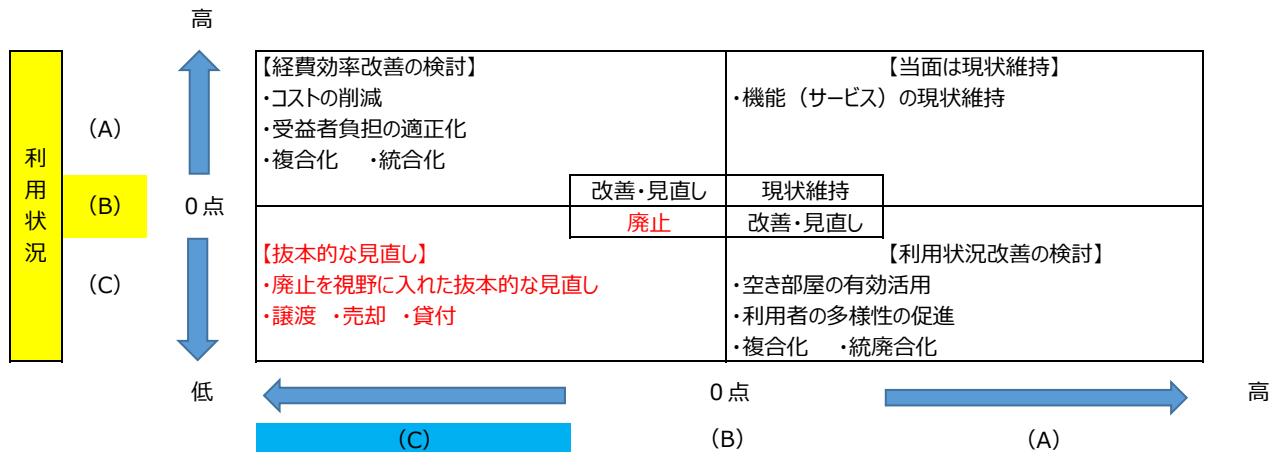
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-2
縦軸	必要性による評価	0
	合計点数	-2

【抜本的な見直し】

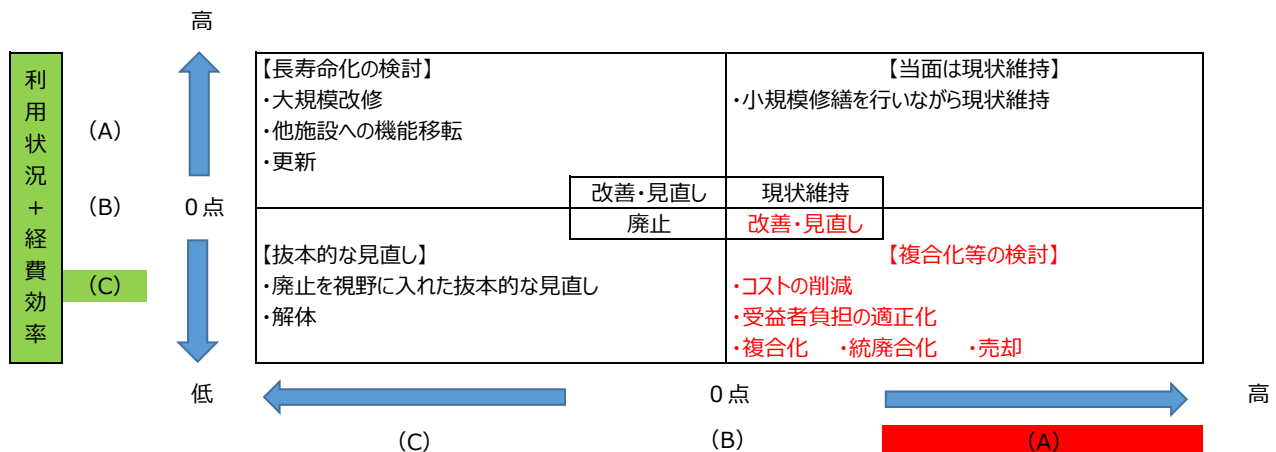


評価	説明
A	評価結果の集計点が、1 点以上
B	評価結果の集計点が、0 点
C	評価結果の集計点が、- 1 点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	6	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	-2	縦軸
	合計	4	

【複合化等の検討】



評価	説明
A	評価結果の集計点が、1 点以上
B	評価結果の集計点が、0 点
C	評価結果の集計点が、- 1 点以下